

### ③創業・起業、新事業開拓、成長支援

## 専門家、自治体と協働したファンドによる起業支援の取組

(盛岡信用金庫)

#### 【概要】

平成24年8月、フューチャーベンチャーキャピタル株(FVC)、盛岡信用金庫、盛岡市、滝沢村(現：滝沢市)が直接出資の地域ファンドを設立。平成25年6月、矢巾町、紫波町が参加し、ファンド総額1億円となった。1社につき、最大投資額500万円。

投資対象は盛岡信用金庫営業エリアに本社を置く企業(19市町村)で、原則として株式会社化から5年以内。第二創業等も可。

#### 背景と経緯

盛岡信用金庫の営業エリアでは、人口の減少、事業所数の減少による地域経済への影響は深刻であった。また、東日本大震災をきっかけに、沿岸部から内陸部へ人の移動が起り、中でも技術力や経験豊富な人材が、内陸部である盛岡で起業することが予想された。

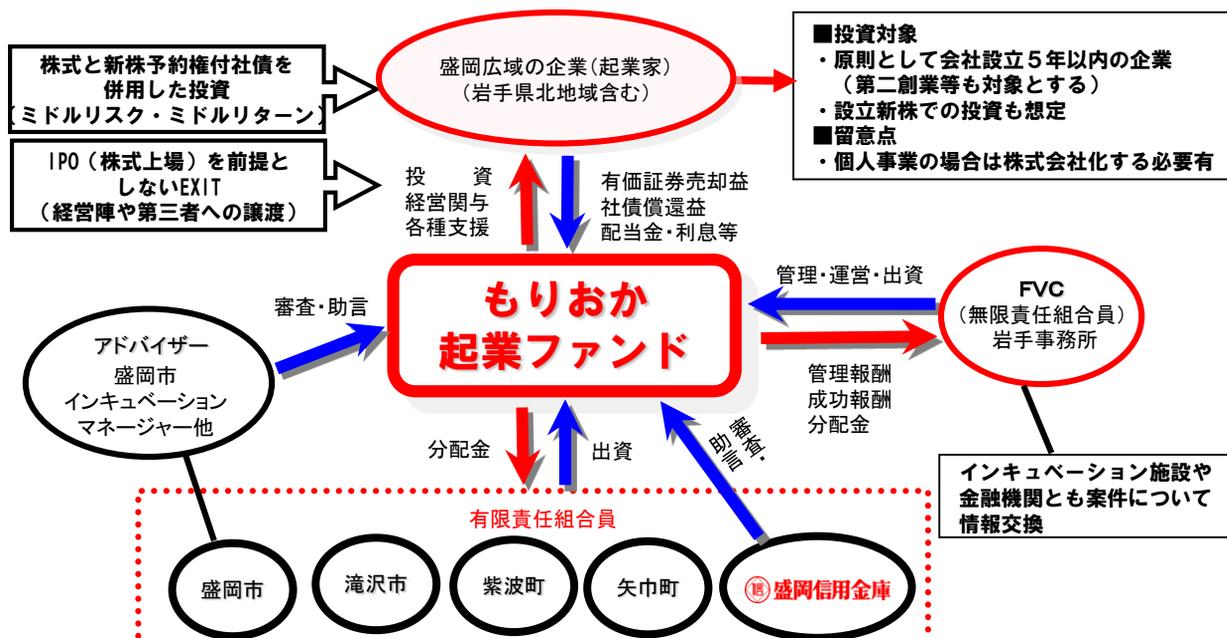
そのことは地域にとって大きなプラスではあるが、融資による支援に限界を感じていた当金庫は、資本性の資金を提供することで起業支援が可能では、との考えを持ちファンド設立を決定した。



平成24年8月20日  
設立共同記者会見

#### 具体的な取組

#### 【ファンドスキーム図】



ファンドの組成にあたっては、起業への投資ノウハウがあるFVCと協働すると共に、地域の4自治体とも組んで地域における起業の連携した支援体制を構築している。

また、ファンドの投資スタンスとして、IPOが前提ではなく、比較的長い時間軸で投資先である起業した企業をハンズオン型の支援で成長させていくことが特徴的である。

## 取組の成果

ファンドの実績としては、受付総数115社、審査中3社、投資実行累計7社、2,400万円となっている（平成27年9月現在）。なお、本取組は、平成25年3月に東北財務局長から平成24年度地域密着型金融に関する優れた取組として、顕彰を受けたほか、平成26年6月には一般社団法人全国信用金庫協会が主催する第17回「信用金庫社会貢献賞」において、『地域活性化しんきん運動・優秀賞』を受賞した。

No.	投資先企業名	業務内容	所在地
1	(株)浄法寺漆産業	浄法寺漆の精製及び販売、浄法寺漆器の販売、自社開発商品の販売、ネットショップ運営等	盛岡市
2	(株)クロス・クローバー・ジャパン	猫用品に事業特化したセレクトショップ「nekozuki」の企画・運営	本社：矢巾町 事業所：盛岡市
3	(株)ファーストエンカウンター	理容を主軸とした美容・エステの融合店「理容ファースト」の運営	盛岡市
4	(株)フリーダムデザイン	「インテリアから考える住まいづくり」をコンセプトとした住宅の企画、設計、施工、インテリアコーディネイト	盛岡市
5	(株)ニューステージ	太陽光発電システムの販売、工務店向け各種サービスの提供	本社：盛岡市 本部：仙台市
6	(株)シー・ソフト	システム受託開発、システム自社開発、アウトソーシング、インターネット関連事業	盛岡市
7	セルスペクト(株)	医療機器の基盤技術開発・製造販売臨床検査装置・診断薬の開発・製造販売、新規バイオマーカーの臨床開発	盛岡市

## 今後の課題

投資候補者への出資最終決定は、投資審査会を開催し、FVCのファンドマネージャーや投資担当者のほか、盛岡市のインキュベーションマネージャーや当金庫担当者もオブザーバーとして参加している。

投資審査である経営者の資質を見極めのポイントとしたうえで、事業性を評価するため、投資実行には時間を要している。もう少しペースを上げていくことも必要と考えている。



定例ファンドミーティングの様子



### Point | 支援実施のポイント／横展開にあたっての示唆

支援実施のポイント① IPOを前提とせず、時間と手間をかけ、地域の産業の芽を育てる。

支援実施のポイント② 投資先の経営に深く関与するハンズオン型支援

支援実施のポイント③ 投資先の取締役会等にも参加して株主目線で助言